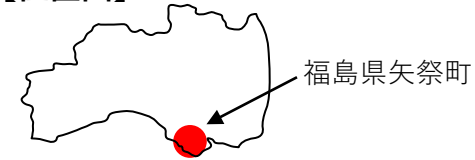


就農に向けた円滑な実習のため農業機械のアタッチメントを導入

- 矢祭町の農業は歴史的に水稻を中心とした複合経営が展開され、現在は主に水稻と施設園芸が盛んな地域であるが、農業従事者の高齢化と後継者不足が大きな課題となっている。
- 町内各地の大規模農家や農業法人が担い手の一端となっているが、若年層の参入を期待するところであり、当社も令和4年度に県の認定研修機関となった。
- 受入れた研修生に対する水稻実習のため、令和5年度に農業機械のアタッチメントを導入した。

【位置図】



福島県矢祭町

取組前

- 事業取組前は、法人として使用していた大型のアタッチメントしか保有していなかった。
- 研修生が就農後に個人経営していくことや、小面積や変形圃場が多い地区の存在を考慮すると、大型のアタッチメントでは円滑な実習が難しい状況であり、水稻の認定研修機関としてはそういった圃場の作業効率を考慮した資機材を整備する必要があった。

取組内容

- 圃場における水稻実習の際に必要な農業機械のアタッチメント(トラクターのロータリー)を導入。
- 研修終了後にスムーズに農業活動できるよう、研修生が就農時に使用することを想定した規格のロータリーとした。



導入したロータリー

取組後(成果)

- 小面積や変形圃場の作業効率が向上。
- 県外からの農業研修希望者(東京都2名・神奈川県1名)に対しても研修の中でトラクターのロータリー作業を行った。
- 事業実施時の研修生はR7年度に水稻作業受託及び果樹栽培で新規就農。

新規就農者数(地域内合計)
事業実施前 (R2~4年度平均): 1人
事業実施後 R6年度: 0人
R7年度: 3人



ロータリー作業研修の様子

【サポート体制】

有限会社でんぱた
(認定研修機関)

就農に向け実習と
座学による研修を
実施

研修生

※必要に応じて認定研修機関及び
研修生へ矢祭町が各種サポートを
実施

新規就農者や研修生の声

- 就農を考えている地区は小面積圃場が多いため、そういった場所で使いやすい機械で研修を受けられて良かった。
- 就農後は自家保有のロータリーでの作業を考えていたが、同規格のもので研修を受けられたことで、就農時の作業計画が立てやすくなった。

サポート体制構築事業 活用年度：令和5年度

【問合せ先】 有限会社でんぱた

TEL：0247-46-2571

E-mail：agri-net@denpata.com